

科目名		設計製図A			
担当教員		広川智子		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで設計の基礎的な方法を理解しておく必要があります。そのために授業では、道具の扱い方、線の書き方、木造2階建ての図面を中心に解説します。設計方法と木造の図面が理解でき、設計できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→課題：2階建て設計図（配置図、平面図、立面図、断面図、矩形図）を仕上げます。最後、木造の設計図の課題を提出します。			
学習目標 (到達目標)		後期は2級建築士試験設計製図を課題に、各図面を作図して設計技術の習得を目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①初学社の建築講座 建築製図 著者：瀬川康秀 発行：市ヶ谷出版 ②製図道具一式、製図版（貸与）			
NO.				学習方法・準備学習・備考	
1	課題1 矩計図			木造矩計図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズにレイアウトして全員で順番に描き進める。特に細かい部分の寸法を意識して描く。完成後提出する。	
2	専用住宅（木造2階建て）の設計 エスキース			専用住宅を設計し、エスキースを完成させる。	
3	専用住宅（木造2階建て）の設計 課題2 配置図、平面図			作図手順を再確認し、配置図・1階平面図・2階平面図の作図を完成させる。完成後提出。	
4	専用住宅（木造2階建て）の設計 課題3 立面図、断面図			作図手順を再確認し、立面図、断面図の作図を完成させる。完成後提出。	
5	専用住宅（木造2階建て）の設計 課題4 矩計図			作図手順を再確認し、矩計図の作図を完成させる。完成後提出。	
6	透視図法			教科書をもとに2点透視図を完成させる。2点透視図法の作図方法を理解し、習得する。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			建築士試験の二次試験の基礎となる部分です。線の太さと濃淡を意識してくっきりとした線を心がけてください。見やすい図面を完成させ提出期限を守り、木造の設計技術に関して習得することを目標とします。取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計事務所に勤めて10年以上。			